

## 家庭学習応援事業概要

## (1) 小学生サタデースクール☆ふじみ (令和元年度)

対 象	市立小学校に在籍する5年生
会 場	鶴瀬公民館、水谷公民館、針ヶ谷コミュニティセンター ※鶴瀬公民館工事中の9～11月はぱれっと福祉活動センター
募集人数	60人
開催期間	7月～3月
開催日時	毎週土曜日 午前9時～12時
内 容	国語・算数の学習(各教科60分・30回) 習熟度にあわせ各教科2クラス編成 各教科・クラスに専任講師1名
参加費	6,000円(就学援助対象世帯は半額)※教材費・保険料
委託先	Z会グループ(株)エデュケーショナルネットワーク
事業費	4,579,300円(税込み)
一人当たりの費用	77,600円 4,579,300÷59(最終参加人数)

## (2) 中学生イブニングスクール☆ふじみ (令和元年度)

対 象	市立中学校に在籍する3年生
会 場	鶴瀬公民館、水谷公民館 ※鶴瀬公民館工事中の9～11月はぱれっと福祉活動センター
募集人数	60人 ※1教科のみの申し込みも可。1人1教科の場合、最大120人
開催期間	7月～2月
開催日時	鶴瀬公民館 毎週火・木曜日 午後6時30分～9時 水谷公民館 毎週水・金曜日 午後6時30分～9時
内 容	英語・数学の学習(各教科90分・34回) 習熟度にあわせ各教科2クラス編成 各教科・クラスに専任講師1名、各教科に補助講師1名
参加費	10,000円(就学援助対象世帯は半額)※教材費・保険料
委託先	Z会グループ(株)エデュケーショナルネットワーク
事業費	7,534,780円(税込み)
一人当たりの費用	107,600円 7,534,780÷70(最終参加人数)

# 1 小学生サタデースクール☆ふじみ

## 1 3年間の振り返り

### ○受講者数について

- ・鶴瀬会場は他の会場と比較すると応募人数が多い傾向がある。
- ・針ヶ谷会場は例年定員割れの状況が続き、別会場より数名会場変更を依頼していた。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
鶴瀬会場	22名	28名	21名
水谷会場	21名	20名	22名
針ヶ谷会場	19名	19名	16名
合計	62名	67名	59名

※最終受講者数

### ○成果

#### 家庭学習の定着

30分以上の家庭学習時間(アンケート結果より)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学習時間30分以上	32%⇒66%	37%⇒76%	29%⇒81%

#### 学力の向上

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
算数(7月⇒3月)	22.3点⇒57.6点	52.7点⇒57.1点	54.1点⇒56.8点
国語(7月⇒3月)	33.4点⇒51.5点	49.6点⇒61.8点	47.3点⇒49.9点

※令和元年は7月⇒10月

#### 80%超の満足度

アンケート結果より

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小学5年生満足度	96%	94%	84%

### ○課題

- ①6年生の事業実施希望の声が多い(保護者アンケート等)
- ②費用対効果に対する見直しが必要。
- ③会場ごとに申込者数のばらつきがある。

課題を踏まえ、新提案！！

## 2 令和3年度事業見直し（案）

### ①対象学年を5年生と6年生の2学年とする

- ・6年生のスクール開設を希望する声にこたえる。
- ・5年生で受講した児童を、引き続き6年生での受講も見込まれる。
- ・6年生でのつまづきに対応する。

### ②対象科目を算数1科目とする

- ・現状の予算規模を維持し、受講者の増加が見込まれる。
- ・令和元年度よりイブニングスクールにて1科目のみの受講を可能としている。その中でも家庭学習の定着については確認済。

### ③募集定員の見直し

#### 各会場の対象人数の分析からの見直し

各会場の周辺小学校の対象児童数集計と各会場ごとの割合（令和元年度5月1日時点）

鶴瀬公民館	水谷公民館	針ヶ谷コミュニティセンター	全体
575人	215人	139人	929人
60%	25%	15%	100%



児童数割合をもとにした各会場の定員数（現在、各会場20人）

鶴瀬公民館	水谷公民館	針ヶ谷コミュニティセンター	合計
36人	15人	9人	60人
60%	25%	15%	100%



過去の事業実績を考慮した人数の割り振り

鶴瀬公民館	水谷公民館	針ヶ谷コミュニティセンター	合計
25人	20人	15人	60人

#### 小学校長からのご意見

- ・受講科目を1科目にするデメリットより、人数が増えるメリットの方が大きい。
- ・つまづき解消と学力の効果がより分かりやすい算数でよい。
- ・2年目（6年生）の開設により1年目の効果を切らさず中学に進むことができる。
- ・付録的にでも国語の漢字練習など取り入れられればありがたい。

#### 見直しの効果

- ・保護者のニーズに応えられる。
- ・より多くの児童の参加が見込まれる。
- ・5年生・6年生の継続受講により、切れ目なく中学の学習に取り掛かることが出来る。
- ・費用対効果 1人あたり77,000円 ⇒ 35,000円台になる。

## 2 中学生イブニングスクール☆ふじみ

### 1 3年間の振り返り

#### ○受講者数について

・H29、H30は定員割れ。R1は一教科受講を可能とし、申込者が定員を大きく上回った。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
鶴瀬会場	25名	22名	英語 29名	数学 30名
水谷会場	24名	25名	英語 26名	数学 25名
受講者数	49名	47名	70名	

2教科受講：40名  
1教科受講：30名

#### ○成果

#### 家庭学習の定着

30分以上の家庭学習時間(アンケート結果より)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学習時間30分以上	50%⇒94%	45%⇒78%	48%⇒85%

#### 学力の向上

効果測定全体平均&高校合格率

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
英語(7月⇒2月)	34.5点⇒59.3点	48点⇒59.7点	50.3点⇒64.4点
数学(7月⇒2月)	36.1点⇒51.5点	51.5点⇒66.1点	52.4点⇒65.3点
第1志望校合格率※	95.6%	97.8%	94.3%

※R1合格校：川越1名、所沢北1名、川越南1名、松山(理数科)1名、和光国際2名、他60名

#### 90%超の満足度

アンケート結果より

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
中学3年生満足度	97%	100%	98%

#### ○課題

- ①定員割れや定員オーバーへの対策
- ②学力の向上とともに、受験対策としての幅をひろげるか
- ③費用対効果に対する見直しが必要

### 2 課題解決のために⇒令和2年度の取り組み

